

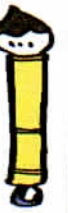
よえもん

2016年6月

第 38 号



今月のことば



シリーズ
よえもん

先生の遺徳



先生が亡くなってからも、先生の徳を敬い
した人々は絶えることはありませんでした。
先生の高弟熊沢蕃山は、著書の中で
「先生は、生れつきに君子(聖人)の
風格があり、聖人の志を大切にされ、



しょうがい努力を積み重ねられた」と著わしました。
そして、儒学者として有名な佐藤一斎も、先生を敬い
したって先生が亡くなって百年たってお参りを
した時のようすを、人の心は、なごやかで
あたりに住む人は、今もなお礼儀正しい
ので人に聞かなくても先生の御理であることがわかる。」
と先生の画像に詩を書きました。



また、内村鑑三は、1894年「代表的日本人」
という英文の本をあらわし、先生を日本の代表的な
人物として世界に紹介しました。



このように先生は人間としても
後々まで人々に感化する力を持った
すぐれた人だったのです。

「論語」陽貨第十七

書 瀧田瑞穂さん

巧言令色
鮮なし仁

「心にもなく お上手を言ったり
腹の中ではどう思っているようにも
顔つきは如何にもにこにこ
して夢想よくするお人人間に
まあ、仁着は出来ないだろうと
思う。」という意味です。

藤樹は、自身をつつしみ、
他者を思いやり、つねに
誠実な態度で接する
生き方をしょうがい
つらぬきました。

記念館さんぽ



藤樹神社の拝殿左手に思わず目を奪われるような色鮮やかな
赤い花をつけたシャブガが競うように咲いています。ぜひ、見に来て下さい。



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

